

開講科目名 / Course	地域生活支援論	
ターム・学期 / Term・Semester	2021年度 / Academic Year 後期	
開講区分 / semester offered	後期	
単位数 / Credits	1.0	
学年 / Year	3	
主担当教員 / Main Instructor	赤星 琴美	
担当教員名 / Instructor	赤星 琴美、佐藤 愛、小野 治子、木嶋 彩乃	
必修・選択 / compulsory subject	必修	
講義形態 / Class Type	講義	
科目の目的と概要	多様な場で生活する多様な生活レベルにある人々の生活の質を向上するための支援を考える際、個人や家族の個別の問題解決ととらえるのではなく、地域住民の立場で考えることのできるように、コミュニティアセスメントを身につけ、コミュニティとしての課題を考え、多職種間の連携の意義を見出すことのできるスキルを修得する。	
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母子、成人、高齢者等のライフステージの特性および地域看護活動について説明できる。 2. 障害、難病等の療養者がおかれている状況と地域看護活動について説明できる。 3. コミュニティアセスメントの必要性を説明できる。 4. 地域の特性を説明できる。 5. 地域の病院・診療所、外来部門など地域医療の場を想定した多職種の連携について説明できる。 	
DPとの対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 確かな看護の力・技術力、 2. 看護を遂行するための幅広い知識と観察力・臨床推論能力、マネジメント能力、 3. 心豊かな人間性と倫理観、 4. より健康な社会の実現に向けて課題を見出し、改革・改善する力、 5. 国際性を持ち、多くの職種や人々と連携・協働する力 	
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 01. 地域看護活動の場による特性（保健所、保健センター等） 02. 母子保健活動 03. 成人保健活動 04. 高齢者保健活動 05. 障がい者（児）、難病保健活動 06. コミュニティアセスメントの目的 07. コミュニティアセスメントの方法 08. コミュニティアセスメントの実際：実習地のアセスメント(1)（グループワーク） 09. コミュニティアセスメントの実際：実習地のアセスメント(2)（グループワーク） 10. 地域保健活動の実際 	
その他の授業の工夫	地域看護の対象は、地域で生活するあらゆる健康レベル、あらゆる発達段階にある人々であることを常に意識できるようDVDやハンドアウト等を活用する。学術論文などから最新の情報を提供する。グループワークを多く組み込むことで、それぞれの学生が影響を及ぼすグループダイナミクスを期待している。	
時間外学修	自分の日常生活を通して、地域にどんな人々が暮らしているのか、どんな健康課題があるのか、それらの健康課題がどのように解決されているのかなどに関心を持ってください。シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書、参考書等を用いて事前学習を行うこと。また、授業を受けた後は復習、次回の授業に関する課題に取り組むこと。	
評価方法と評価割合	筆記試験及び授業参加態度、課題レポートにより総合的に評価する（評価配分：筆記試験80%、授業参加態度10%、課題レポート10%）。なお、筆記試験の受験資格は、出席が7回以上とする。	
テキスト	公衆衛生看護学 第2版（中央法規）（2年次に購入済み）	
参考書		
履修する上で必要な要件		
その他		
教員の実務経験	有・無	有
	内容	赤星琴美：保健所の保健師、小学校・中学校・高等学校の養護教諭 小野治子：看護協会職員、高等学校の養護教諭 佐藤愛：病院の保健師 木嶋彩乃：市町村保健センターの保健師
教員以外で指導に関わる者の実務経験	有・無	無
	内容	
実務経験をいかした教育内容	担当教員それぞれが、医療機関および行政機関で保健師として保健活動を実践してきた豊富な経験、養護教諭として学校での保健活動を実践してきた経験もとに学生を指導する。	